

# 解析依頼書 (記入例)

一般財団法人 日本建築総合試験所 殿

(一財)日本建築総合試験所「試験等業務約款」の内容を了承のうえ、解析を申込みます

試験番号	—	—
受付	年	月 日
報告	年	月 日

※ 太線の中だけ「記入下さい」。

依頼者	会社名	フリガナ オオサカ カブシキガイシャ 大阪 株式会社			
	住所	フリガナ (〒 565 - 0873 ) 大阪府吹田市藤白台5丁目8番1号			
	担当者	部課名	研究開発部第1課		
		フリガナ	オオサカ タロウ	E-Mail	taro-osaka@osaka.co.jp
		氏名	大阪 太郎	Tel :	06 - 6872 - 0391
		Fax :	06 - 6872 - 0784	業務課の記入欄	
	請求書送付先 (どちらかに印)	<input checked="" type="checkbox"/> 上記依頼者と同じ <input type="checkbox"/> 裏面(次頁)請求書送付先	報告書送付先 (いずれかに印)	<input checked="" type="checkbox"/> 送付 上記依頼者と同じ <input type="checkbox"/> 送付 裏面(次頁)報告書送付先 <input type="checkbox"/> 来所	
解析依頼の名称	ブレース接合部の弾塑性解析				
解析依頼の目的	偏心接合した座屈拘束ブレースの接合部に生じる応力が許容応力度以下となることを確認する				
報告書宛名	<依頼者会社名と異なる場合に記入して下さい。>				
	解析内容		試験室記入欄	業務課記入欄	
	解析対象は、角形鋼管柱(□-○○○×○)とH形鋼梁(H-○○○×○○○×○×○)および座屈拘束ブレースからなる部分架構であり、接合部周辺はシェル要素でモデル化し、接合部から離れた部分は梁要素でモデル化する。 下側柱の反曲点位置をピン支持し、梁両端は鉛直変位を等値する。上側柱反曲点位置に繰り返し水平変位を与える。 解析ケースは、偏心量の異なる4ケース。 詳細は解析計画書に記載。				
解析希望日	0000年 00月 00日 ~		0000年 00月 00日		
その他当所への連絡事項 (試験内容等の打合せ担当者が上記依頼者と異なる場合、請求・お支払に関する事項等ご記入下さい。) 支払い等についての記載がある場合はご記入ください。					

(一財)日本建築総合試験所 記入欄

解析開始予定日:	年 月 日	解析終了予定日:	年 月 日	報告書発行予定日:	年 月 日	受付手続きが完了しましたので、試験依頼書控(ホビ-)を提出致します。
業務課長	主 査	業務担当者	上級技術管理者	技術管理者	打合担当者	

試験料金		報告書発行日	正
請求額	請求日: 請求書No.:		副
入金額	入金日: 現金: 振込	郵送: 来所: ( )	

※以下については、請求書送付先・報告書送付先が前頁（表面）の依頼者と異なる場合のみ記入して下さい。

請求書送付先	会社名	フリガナ		
	住所	( 〒      -      )		
	担当者	部課名		
		フリガナ	Tel :      -      -	
		氏名		
Fax :      -      -	E-Mail :			
請求書宛名 (上記と異なる場合のみ記入)				

報告書送付先	会社名	フリガナ		
	住所	( 〒      -      )		
	担当者	部課名		
		フリガナ	Tel :      -      -	
		氏名		
Fax :      -      -	E-Mail :			

※ 表面に記載された依頼者以外の共同依頼者については、以下に記入して下さい。

共同依頼者	会社名	フリガナ		
	住所	( 〒      -      )		
	担当者	部課名		
		フリガナ	Tel :      -      -	
		氏名		
Fax :      -      -	E-Mail :			

共同依頼者	会社名	フリガナ		
	住所	( 〒      -      )		
	担当者	部課名		
		フリガナ	Tel :      -      -	
		氏名		
Fax :      -      -	E-Mail :			

共同依頼者	会社名	フリガナ		
	住所	( 〒      -      )		
	担当者	部課名		
		フリガナ	Tel :      -      -	
		氏名		
Fax :      -      -	E-Mail :			